

	質問書類	該当箇所	質問内容	回答
1	提案書	1 提案者の概要	1 提案者の概要 に「主な活動実績」を書く欄がありますが、こちらは本事業に類似した実績ではなく、社として代表的な活動実績を記載するという認識でよろしいでしょうか？	社としての代表的な活動実績を記載してください。これまでの類似実績については別途欄を設けておりますのでそちらに記載ください。
2	提案書	2 提案事業の内容	再委託先の専門家なども事業の実施体制の従事者欄に記載するという認識でよろしいでしょうか。	再委託先の専門家も含め、本事業に従事する方を記載ください。
3	提案書作成要領	7 提案書の提出 (1)エ 提出方法 (4)	マスキングの範囲は、業務再委託先、業務委託先職員、外部の講師候補の氏名・役職・プロフィールなどどの範囲まで必要でしょうか？	提案者が特定されないようにマスキングしていただく必要があります。プロフィールについてはマスキング不要ですが、内容によってご判断いただきますようお願いいたします。
4	受託候補者特定に係る実施要領	第 9 条（３） イ 障害者雇用に関する取組	障害者雇用について、現在の雇用状況では2.5%を達成しているのですが、9月25日に所管のハローワークへ確認したところ、追加の申請は不要との回答を受けました。このため、現在、2.5%達成を証明する書類が存在しない状況ですが、本件について、障害者雇用の取組の加点として認められますでしょうか。	提案書作成要領（別紙）に記載のとおり、最新年度の障害者雇用状況報告書（「事業主控」）の写しをご提出ください。
5	仕様書（案）	6 業務内容 (1) 表中④ 講座の企画・実施	④講座の企画・実施 のなかで、「年間 3 テーマ以上、 1 テーマあたり原則 3 回以上の講座を企画・実施する。」「「DX、AI、データ分析、RPA、IoT、ノーコード/ローコード」の 6 分野に関連する知識・技術に関するものとし、業種や経営機能※を組み合わせる工夫をする」との記載がありますが、3テーマを企画する場合、その3テーマの中に「DX、AI、データ分析、RPA、IoT、ノーコード/ローコード」の6分野を全て含む必要があるということでしょうか？	ご覧いただいている仕様書（案）は昨年度のものと同様に推察されます。 今年度の仕様書（案）で記載のとおり、AI 技術に関するテーマは必ず含めていただく必要がありますが、それ以外のテーマについては、例示列举ですので、デジタル化の潮流と市内中小企業の実情を踏まえテーマを設定ください。設定する際は、「デジタル分野に関連する知識・技術」と「業種・経営機能」を組み合わせる工夫をしてください。なお、実施例の表も仕様書（案）に掲載しておりますので併せてご確認ください。
6	仕様書（案）	6 業務内容 (1)及び(2) 表中① 事務局設置	(1) 中小企業等デジタル人材育成講座の企画・運営、(2) 中小企業デジタル化伴走支援の実施、それぞれに④事務局設置がありますが、本事業全体の事務局を 1 つ設置し、その事務局が（１）（２）双方の業務を行うことは可能でしょうか？	それぞれ事務局を設置いただいても、本事業全体の事務局を 1 つ設置いただいても構いません。個々の提案者の実情に応じて運営しやすい方法でご提案ください。
7	仕様書（案）	6 業務内容 (1) 表中④ 講座の企画・実施	仕様書(案)には、『ウ 講座構成について 1 テーマあたり 10 名程度とする。』と記載があります。 1テーマあたり10名の参加としてしまう場合、1つのテーマに対して希望者10名を選定し、希望者数に応じて新たにテーマを増設する必要があります。また、セットに分ける際にテーマごとの希望者10名をセットに分けてしまうとワークショップ等を交えたセミナー運営が難しくなります。 設定テーマにおける1セット当たり10名程度とするの理解でよろしいでしょうか。	【訂正】仕様書（案） 2 ページ「④講座の企画・実施 ウ 講座構成」について次のとおり、訂正します。 誤「1 テーマあたり10名程度とする。（以下略）」 正「設定テーマにおける1セットあたり10名程度とする。（以下略）」 仕様書（案） 2 ページ「④講座の企画・実施 ア 実施回数」の「■実施例」の表は正しい記載となっておりますので、講座構成をご検討いただく際は併せてご参照ください。